

向井潤吉アトリエ館

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和37年(59年)	238.12㎡	490.42㎡	238.12㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
弦巻2-5-1	木造	(地上/地下) 2/0	—			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課(文化・芸術振興課)	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を享受するとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	25,911	27,375	▲ 1,464	95
	物件費等	23,035	21,311	1,724	108
	物件費	23,035	21,311	1,724	
	うち光熱水費	595	535	60	
	うち委託料	21,582	19,952	1,630	
	うち土地建物設備賃借料	832	824	8	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	1,414	3,697	▲ 2,283	
(配賦)間接コスト	1,462	2,367	▲ 905		
投資的経費	0	46,239	▲ 46,239		
収入	総収入	440	388	52	
	使用料・手数料	440	388	52	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	25,022			
	建物減価償却累計額	25,022			
	建物残存価額	0			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

管理運営委託 21,582千円 駐車場賃借料 832千円 光熱水費 595千円(電気料 568千円)

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

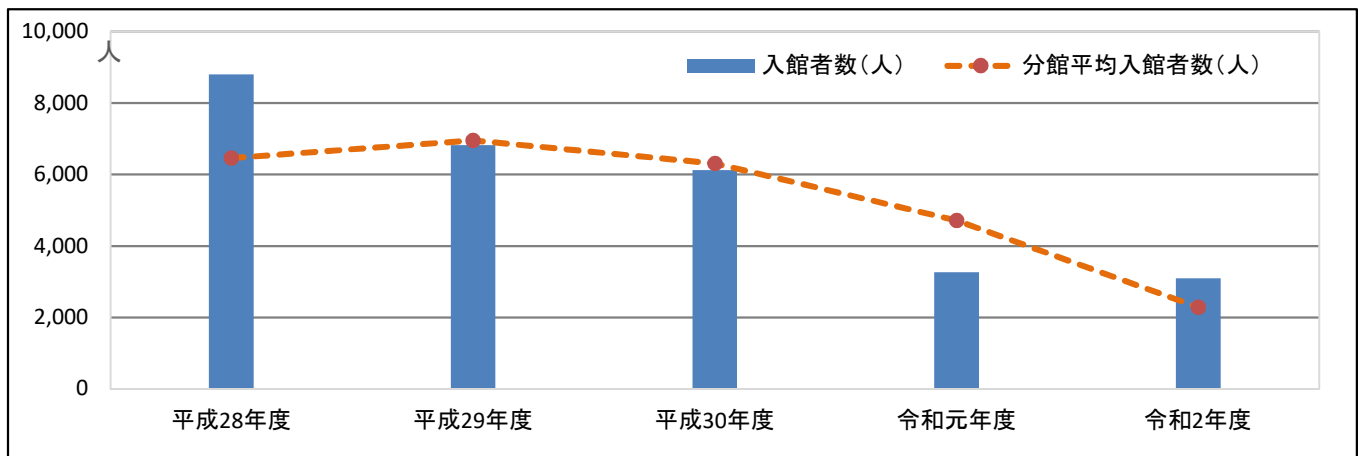
		10年間	築65年まで 〔令和9年〕
試算	計画改修費	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	1.6億円
	合計	—	1.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入館者数(人)	8,797	6,816	6,123	3,263	3,094
参考:美術館分館3施設の合計入館者数					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
分館合計入館者数(人)	19,366	20,859	18,924	14,132	6,860
分館平均入館者数(人)	6,455	6,953	6,308	4,711	2,287

開館時間	午前10時～午後6時
休館日	月曜日、年末年始



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	3,094	47,593
m ² あたり総コスト	108.81	87.96
1人あたり総コスト	8.37	8.95
m ² あたり物件費等	96.74	57.11
1人あたり物件費等	7.45	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	11.21	—

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】利用者数が前々年度の5割に減少。(前年度からは9割に減少。)

【施設間比較】m²あたり物件費等が、同施設種別(美術館等)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】

令和元年度は、中長期改修工事により約6か月休館した。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。

【施設間比較】

同施設分類の中では専有面積も小さいため、比較するとm²あたりの経費が割高となっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、SNSをとおして施設の魅力である趣のある建物や緑豊かな庭の風景を発信するなど、デジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進することで、利用者の増加を図る。

宮本三郎記念美術館

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成16年(17年)	476.98㎡	430.59㎡	476.98㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
奥沢5-38-13	RC造	(地上/地下) 2/0	—			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課(文化・芸術振興課)	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を享受するとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	26,977	29,956	▲ 2,979	90
	物件費等	21,359	20,550	809	104
	物件費	21,359	20,064	1,295	
	うち光熱水費	1,107	1,071	36	
	うち委託料	20,252	18,994	1,258	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	486	▲ 486	
	減価償却費	2,742	2,742	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	1,414	4,096	▲ 2,682	
	(配賦)間接コスト	1,462	2,568	▲ 1,106	
投資的経費	0	1,250	▲ 1,250		
収入	総収入	266	396	▲ 130	
	使用料・手数料	266	396	▲ 130	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	137,081			
	建物減価償却累計額	46,608			
	建物残存価額	90,473			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

管理運営委託 20,252千円 光熱水費 1,107千円(電気料 1,079千円)

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

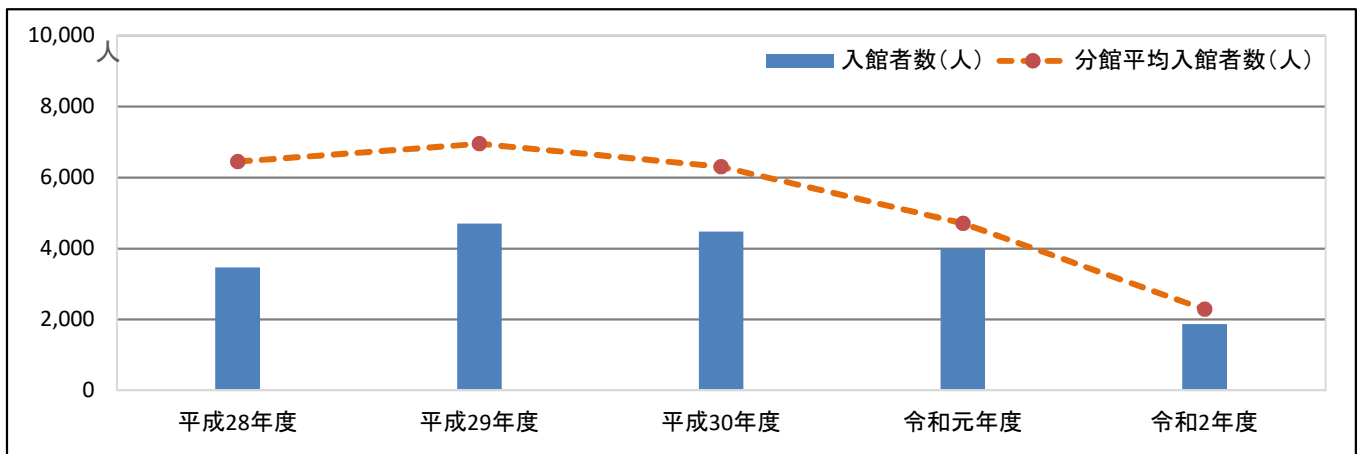
		10年間	築65年まで 〔令和51年〕
試算	計画改修費	0.8億円	1.8億円
	物件費等の積算額	2.1億円	10.3億円
	合計	2.9億円	12.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入館者数(人)	3,462	4,697	4,477	3,994	1,863
参考:美術館分館3施設の合計入館者数					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
分館合計入館者数(人)	19,366	20,859	18,924	14,132	6,860
分館平均入館者数(人)	6,455	6,953	6,308	4,711	2,287

開館時間	午前10時～午後6時
休館日	月曜日、年末年始



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	1,863	47,593
m ² あたり総コスト	56.56	87.96
1人あたり総コスト	14.48	8.95
m ² あたり物件費等	44.78	57.11
1人あたり物件費等	11.46	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	3.36	-

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】利用者数が前年度の5割に減少。
【施設間比較】1人あたり総コスト及び物件費等が、同施設種別(美術館等)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。
【施設間比較】新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により入館者数が減少し、比較すると1人あたりの経費が割高となっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、SNSなどのデジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進する。また、講座室を活用し、誰もが気軽に参加できる講座やワークショップを開催し、利用者の増加を図る。

清川泰次記念ギャラリー

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和36年(60年)	238.57㎡	599.88㎡	238.57㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
成城2-22-17	RC造	(地上/地下) 2/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課(文化・芸術振興課)	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を楽しむとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	40	80	第一種高度地区	指定なし	3h-2h 1.5m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	24,285	22,248	2,037	109
	物件費等	19,595	17,835	1,760	110
	物件費	19,540	17,835	1,705	
	うち光熱水費	578	618	▲ 40	
	うち委託料	18,960	17,212	1,748	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	55	0	55	
	減価償却費	649	649	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	1,945	2,243	▲ 298	
(配賦)間接コスト	2,096	1,521	575		
投資的経費	11,847	0	11,847		
収入	総収入	355	316	39	
	使用料・手数料	337	262	75	
	その他	18	54	▲ 36	
建物情報	建物取得価額	35,975			
	建物減価償却累計額	22,341			
	建物残存価額	13,634			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

管理運営委託 18,960千円 光熱水費 578千円(電気料 552千円)

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

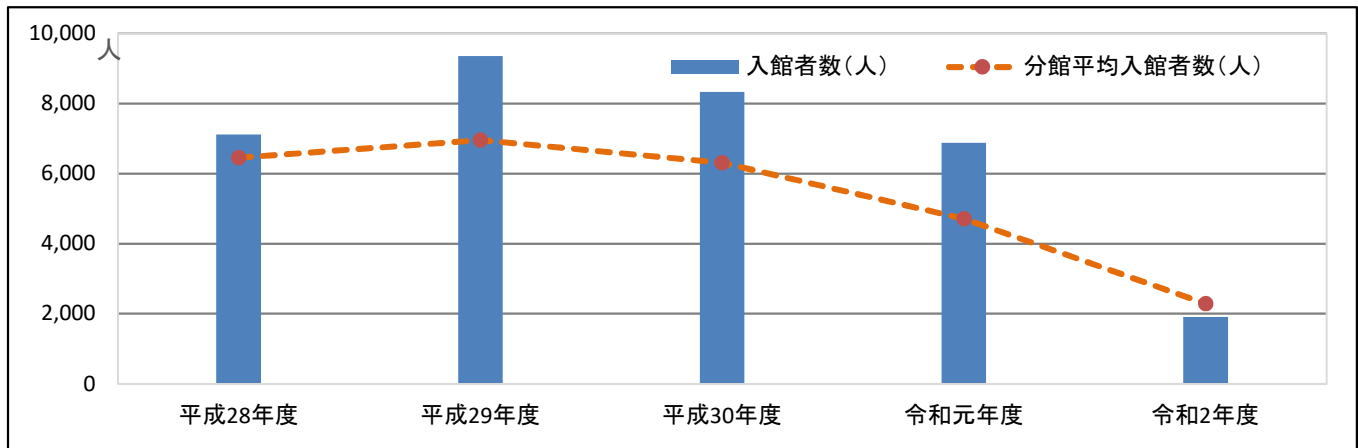
		10年間	築65年まで 〔令和8年〕
試算	計画改修費	—	0.2億円
	物件費等の積算額	—	1.1億円
	合計	—	1.3億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入館者数(人)		7,107	9,346	8,324	6,875	1,903
参考:美術館分館3施設の合計入館者数						
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
分館合計入館者数(人)		19,366	20,859	18,924	14,132	6,860
分館平均入館者数(人)		6,455	6,953	6,308	4,711	2,287

開館時間	午前10時～午後6時
休館日	月曜日、年末年始 展示替期間



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	1903	47,593
m ² あたり総コスト	101.79	87.96
1人あたり総コスト	12.76	8.95
m ² あたり物件費等	82.14	57.11
1人あたり物件費等	10.30	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	-6.47	-

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】利用者数が前年度の3割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、SNSなどのデジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進する。また、区民が身近な地域で文化・芸術活動ができるよう支援するため、引き続き、区民ギャラリーの貸出を行い、利用者の増加を図る。

世田谷美術館

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和60年(36年)	8,577.27㎡	18,999.00㎡	8,577.27㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
砧公園1-2	RC造	(地上/地下) 3/1	—			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課(文化・芸術振興課)	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を楽しむとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。ギャラリー・講堂のコスト含んでいます。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	674,422	682,327	▲ 7,905	99
	物件費等	565,809	570,958	▲ 5,149	99
	物件費	330,039	324,041	▲ 5,998	
	うち光熱水費	40,451	42,867	▲ 2,416	
	うち委託料	289,567	281,156	▲ 8,411	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	235,770	246,917	▲ 11,147	
	減価償却費	99,374	99,374	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	4,662	7,369	▲ 2,707	
	(配賦)間接コスト	4,577	4,626	▲ 49	
	投資的経費	13,928	10,112	▲ 3,816	
収入	総収入	12,702	16,856	▲ 4,154	
	使用料・手数料	8,255	6,207	▲ 2,048	
	その他	4,447	10,649	▲ 6,202	
建物情報	建物取得価額	4,961,816			
	建物減価償却累計額	3,450,306			
	建物残存価額	1,511,510			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

管理運営委託	285,035千円	ESCO事業委託【債務負担】	2,750千円	光熱水費	40,451千円(電気料 29,214千円)
--------	-----------	----------------	---------	------	------------------------

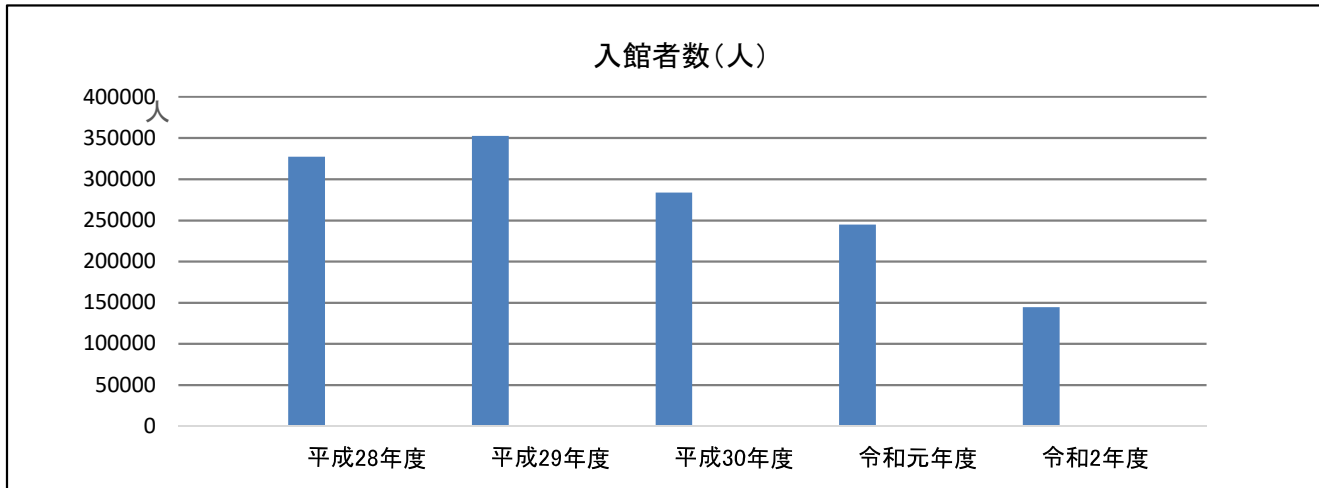
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

試算		10年間	築65年まで 〔令和32年〕
		計画改修費	9.3億円
	物件費等の積算額	56.8億円	170.5億円
	合計	66.1億円	195.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
 物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
 10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	開館時間
入館者数(人)	327,223	352,549	283,536	244,956	144,489	午前10時～午後6時
						休館日
						月曜日



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	144,489	47,593
m ² あたり総コスト	78.63	87.96
1人あたり総コスト	4.67	8.95
m ² あたり物件費等	65.97	57.11
1人あたり物件費等	3.92	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	-5.64	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは7905千円減少。また、物件費等も前年度の5149千円減少。
 【利用状況】利用者数が前年度の6割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、施設運営に係る経費が減少したと考えられる。
 【利用状況】
 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、撮影可能な展示会や撮影スポットの設置など、SNSを活用した受け手側からも広がる区民参加型の情報発信の仕組みを構築するなど、デジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進することで、利用者の増加を図る。
 また、多彩で魅力的な企画展や収蔵品を活用した安価で楽しめる収蔵品展、教育普及事業など幅広い層に応じたプログラムを展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。

世田谷文学館

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成5年(28年)	4,593.92㎡	2,441.42㎡	4,593.92㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
南烏山1-10-10	S造	(地上/地下) 3/1	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課(文化・芸術振興課)	設置根拠	世田谷区立世田谷文学館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が文学に関する知識を深めるとともに、自らが学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	文学館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
第二種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	353,791	370,014	▲ 16,223	96
	物件費等	303,230	314,726	▲ 11,496	96
	物件費	143,222	135,412	7,810	
	うち光熱水費	10,539	12,195	▲ 1,656	
	うち委託料	132,659	123,194	9,465	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	160,008	179,314	▲ 19,306	
	減価償却費	38,749	38,749	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	5,416	9,756	▲ 4,340	
(配賦)間接コスト	6,396	6,783	▲ 387		
投資的経費	4,437	17	4,420		
収入	総収入	1,073	1,037	36	
	使用料・手数料	381	145	236	
	その他	692	892	▲ 200	
建物情報	建物取得価額	1,937,448			
	建物減価償却累計額	697,481			
	建物残存価額	1,239,967			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

管理運営委託 132,320千円 光熱水費 10,539千円(電気料 8,688千円)

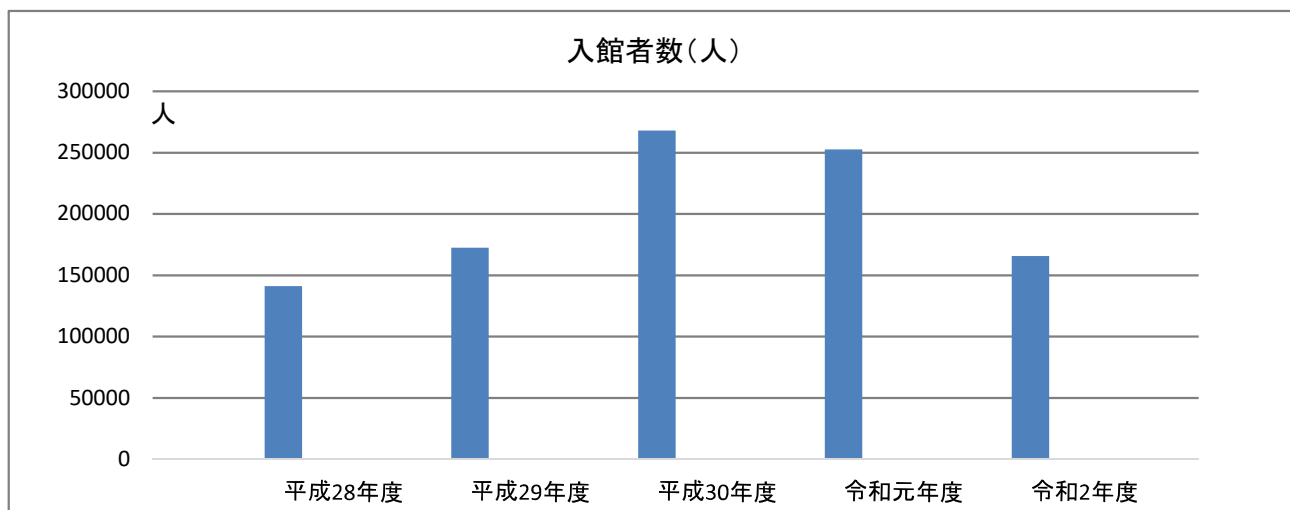
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

試算		10年間	築65年まで 〔令和40年〕
		計画改修費	0.0億円
	物件費等の積算額	30.9億円	117.4億円
	合計	30.9億円	131.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	開館時間
入館者数(人)	141,150	172,363	267,931	252,502	165,620	午前10時～午後6時
						休館日
						月曜日、年末年始



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	165,620	47,593
m ² あたり総コスト	77.01	87.96
1人あたり総コスト	2.14	8.95
m ² あたり物件費等	66.01	57.11
1人あたり物件費等	1.83	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	-13.58	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは16223千円減少。また、物件費等も前年度の11496千円減少。
【利用状況】利用者数が前年度の7割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業の休止を行ったことにより、施設運営に係る経費が減少したと考えられる。
【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより、利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、撮影可能な展覧会や撮影スポットの設置など、SNSを活用した受け手側からも広がる区民参加型の情報発信の仕組みを構築するなど、デジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進することで、利用者の増加を図る。
また、多彩で魅力的な企画展や収蔵品を活用した安価で楽しめる収蔵品展、学校や地域と連携し出張展示・出張ワークショップ(どこでも文学館)など、幅広い層に応じたプログラムを展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。

郷土資料館

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和39年(57年)	2,140.95㎡	4,022.00㎡	2,140.95㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
世田谷1-29-18	RC造	(地上/地下) 2/1	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生涯学習部生涯学習・地域学校連携課	設置根拠	世田谷区立郷土資料館条例
中区分	美術館等	設置目的	主として区内の資料(出土品、古文書、図表、模型、民俗資料等をいう。以下同じ。)を収集し、又は寄贈若しくは寄託を受けて、これを保存及び展示して、区民の教養の向上及び教育、学術研究等に資することを目的として設置している		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
近隣商業地域	80	300	28m第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	117,211	111,909	5,302	105
	物件費等	30,156	39,255	▲ 9,099	77
	物件費	23,003	26,812	▲ 3,809	
	うち光熱水費	3,086	3,629	▲ 543	
	うち委託料	10,842	12,303	▲ 1,461	
	うち土地建物設備賃借料	94	165	▲ 71	
	維持補修費	1,674	1,271	403	
	扶助費・補助費等	5,479	11,172	▲ 5,693	
	減価償却費	5,441	5,441	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	55,200	46,242	8,958	
	(配賦)間接コスト	26,414	20,971	5,443	
	投資的経費	27,377	8,568	18,809	
収入	総収入	3,942	3,068	874	
	使用料・手数料	1	10	▲ 9	
	その他	3,941	3,058	883	
建物情報	建物取得価額	706,407			
	建物減価償却累計額	626,925			
	建物残存価額	79,482			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

「東京都野毛大塚古墳出土品」保存再処理等委託 4,565千円 旧新町村石田家文書裏打表装委託 2,188千円
空調機等設備管理及び保守委託 1,056千円 光熱水費 3,087千円(電気料 2,609千円)

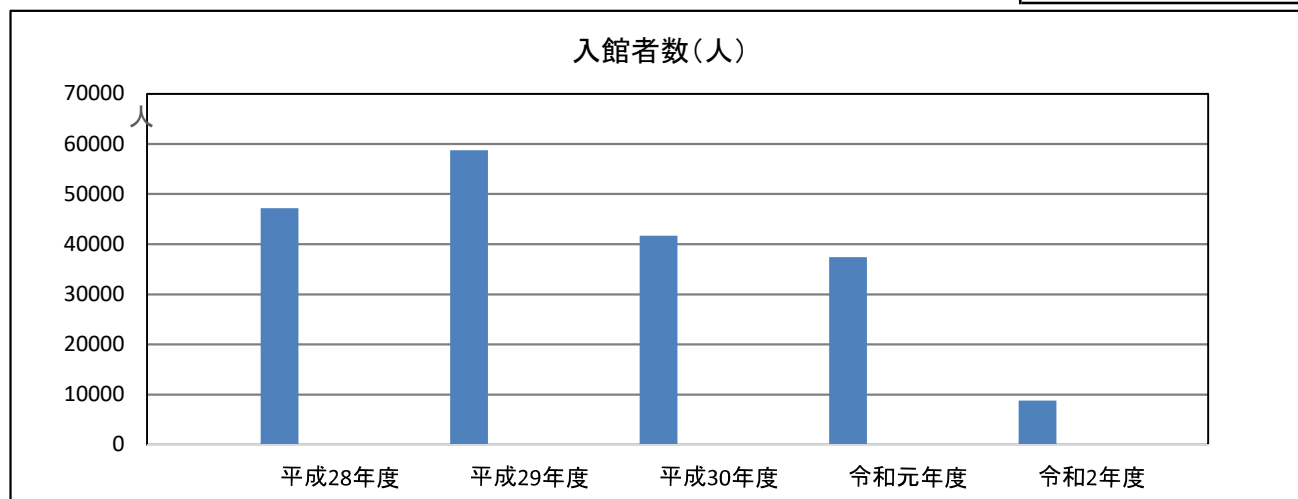
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和11年〕
試算	計画改修費	—	4.4億円
	物件費等の積算額	—	3.1億円
	合計	—	7.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	開館時間
入館者数(人)	47,160	58,685	41,676	37,365	8,780	午前9時～午後5時
						休館日
						毎週月曜日、祝日
						年末年始(12/29～1/3)



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	8,780	47,593
m ² あたり総コスト	54.75	87.96
1人あたり総コスト	13.35	8.95
m ² あたり物件費等	14.09	57.11
1人あたり物件費等	3.43	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	-14.96	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは5302千円増加。一方で、物件費等は前年度の約8割に減少。

【利用状況】利用者数が前年度の2割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、特別展等の事業の中止や休館により、物件費等は減少した。一方、会計年度任用職員制度への移行に伴い、配賦人件費が増加したため総コストは増加した。

【利用状況】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休館及び地域行事や区内小学校の団体見学の中止により、来館者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

- ・施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。
- ・区の歴史・文化を次世代へ継承していくため、調査研究の推進や展示・講座等を通じた教育普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子ども、若者世代への積極的な働きかけを行い、来館者の増加に努めていく。

平和資料館(せたがや未来の平和館)

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和60年(36年) 平和資料館棟1はH27竣工	370.5㎡	78,134.66㎡	2,095.57㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
池尻1-5-27	RC造	(地上/地下) 2/0	世田谷公園水泳場、世田谷公園スポーツ施設			



◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部人権・男女共同参画課(人権・男女共同参画課)	設置根拠	世田谷区立平和資料館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民の平和に対する理解を深めるとともに、戦争の悲惨さ及び平和の尊さを知ることを通じて、区民相互及び地域の交流を促進し、恒久平和の実現に向けた意識を醸成することを目的で設置している		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	都市公園				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	51,197	47,864	3,333	107
	物件費等	11,128	9,695	1,433	115
	物件費	10,862	9,695	1,167	
	うち光熱水費	2,179	2,150	29	
	うち委託料	1,886	2,583	▲ 697	
	うち土地建物設備賃借料	256	767	▲ 511	
	維持補修費	266	0	266	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	5,574	5,579	▲ 5	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	24,056	24,121	▲ 65	
	(配賦)間接コスト	10,439	8,469	1,970	
投資的経費	0	0	0		
収入	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	124,874			
	建物減価償却累計額	16,858			
	建物残存価額	108,016			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

光熱水費 2,179千円(水道料 1,314千円)	維持管理委託 821千円	中学校巡回展会場設営撤去委託 550千円
土地建物設備賃借料 256千円	機械警備業務委託 172千円	

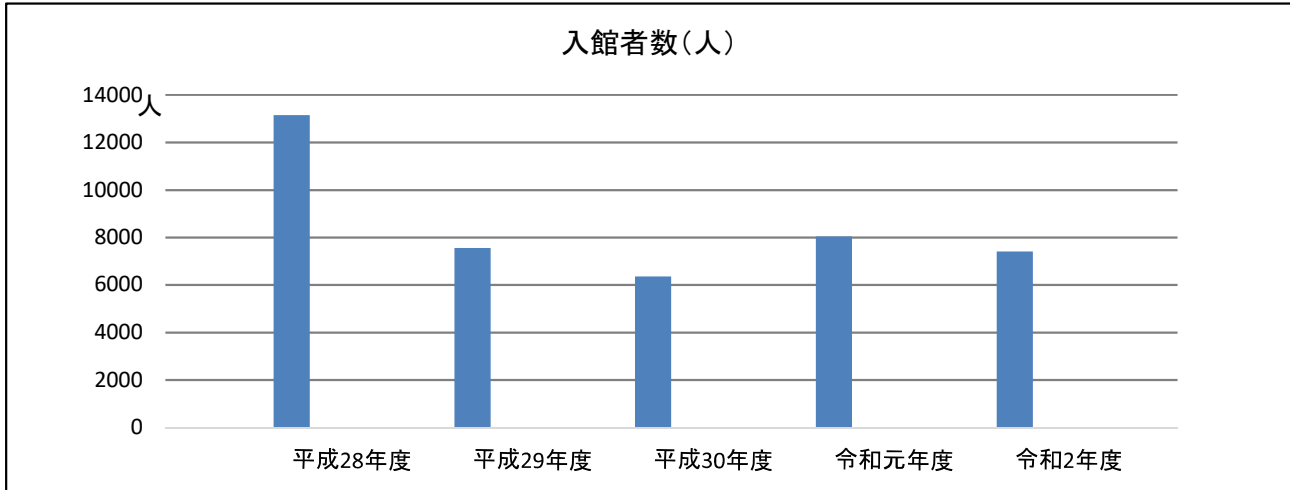
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和62年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.4億円
	物件費等の積算額	1.0億円	6.2億円
	合計	1.0億円	7.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入館者数(人)	13,143	7,547	6,355	8,035	7,405



	令和2年度	施設種別平均 (美術館等)
利用者数	7,405	47,593
m ² あたり総コスト	138.18	87.96
1人あたり総コスト	6.91	8.95
m ² あたり物件費等	30.04	57.11
1人あたり物件費等	1.50	5.70
対前年増減率光熱水費(%)	1.35	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは3333千円増加。
【施設間比較】m²あたり総コストが同施設種別(美術館等)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、日々清掃業務の回数増加及び消毒作業追加により、物件費が増加した。また、経年劣化による故障のため、維持補修費(屋上緑化スプリンクラー、空調機)が増加した。
【施設間比較】
施設運営が直営であるため、人件費が割高となっている。同施設分類の中では専有面積も小さいため、比較するとm²あたりの経費が割高となっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

戦争の悲惨さや平和の尊さを知ることを通じて、区民、地域の交流を促進し、恒久平和の実現に向けた意識を醸成するため、資料の収集・保存、展示の充実に努める。
施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。

宇奈根考古資料室

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(33年)	463.73㎡	1,038.60㎡	463.73㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
宇奈根1-8-21	S造	(地上/地下) 2/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生涯学習部生涯学習・地域学校連携課	設置根拠	世田谷区教育委員会事務局組織規則
中区分	美術館等	設置目的	埋蔵文化財保護・普及(埋蔵文化財調査に伴う遺物の整理作業、収蔵、展示等)		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	第二種風致地区、世田谷西部地域宇奈根地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度 [千円]	対前年度[%]
費用*	総コスト(投資的経費除く)	14,387	11,072	3,315	130
	物件費等	4,528	3,396	1,132	133
	物件費	4,486	3,272	1,214	
	うち光熱水費	833	1,064	▲ 231	
	うち委託料	962	573	389	
	うち土地建物設備賃借料	259	259	0	
	維持補修費	42	124	▲ 82	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	961	961	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	7,116	5,114	2,002	
	(配賦)間接コスト	1,782	1,601	181	
	投資的経費	0	0	0	
収入*	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	64,649			
	建物減価償却累計額	64,649			
	建物残存価額	0			

※経年比較のため、費用及び収入について宇奈根考古資料室及び同分室の合算値とした。(R2年度より一部按分方法の見直し)

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

光熱水費 540千円(電気料 497千円) 警備業務委託 317千円 産業廃棄物等処理委託 269千円

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.2億円
	物件費等の積算額	0.3億円	0.9億円
	合計	0.3億円	2.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設種別平均
利用者数	-	-
m ² あたり総コスト	21.70	-
1人あたり総コスト	-	-
m ² あたり物件費等	6.83	-
1人あたり物件費等	-	-
対前年増減率光熱水費(%)	-21.71	-

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではなく、他の施設と利用形態が異なるため、本施設間比較の平均値から除く。

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは前年度の約1.3倍に増加。また、物件費等も約1.3倍に増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
事務分担の見直しにより、当該施設分の配賦人件費が増加した。また、隣家に配慮し樹木剪定等の回数を増やしたため物件費が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

発掘調査の委託化等に伴う文化財係職員の非常駐化により、今後はコスト減少が見込まれる。また、施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費削減に取り組む。

宇奈根考古資料室分室

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成10年(23年)	199.46㎡		722.29㎡	199.46㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称				
宇奈根1-9-3	S造	(地上/地下) 1/0	-				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生涯学習部生涯学習・地域学校連携課	設置根拠	世田谷区教育委員会事務局組織規則
中区分	美術館等	設置目的	埋蔵文化財保護・普及(埋蔵文化財調査に伴う遺物の整理作業、収蔵、展示等)		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	第二種風致地区、世田谷西部地域地区計画、土地区画整理事業をすべき区域				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度 [千円]	対前年度[%]
費用*	総コスト(投資的経費除く)	14,387	11,072	3,315	130
	物件費等	4,528	3,396	1,132	133
	物件費	4,486	3,272	1,214	
	うち光熱水費	833	1,064	▲ 231	
	うち委託料	962	573	389	
	うち土地建物設備賃借料	259	259	0	
	維持補修費	42	124	▲ 82	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	961	961	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	7,116	5,114	2,002	
(配賦)間接コスト	1,782	1,601	181		
投資的経費	0	0	0		
収入*	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	28,260			
	建物減価償却累計額	22,099			
	建物残存価額	6,161			

※経年比較のため、費用及び収入について宇奈根考古資料室及び同分室の合算値とした。(R2年度より一部按分方法の見直し)

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

光熱水費 293千円(電気料 220千円)	警備業務委託 185千円	産業廃棄物等処理委託 115千円
-----------------------	--------------	------------------

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和45年〕
試算	計画改修費	0.0億円	0.5億円
	物件費等の積算額	0.1億円	0.5億円
	合計	0.1億円	1.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設種別平均
利用者数	-	-
m ² あたり総コスト	21.70	-
1件あたり総コスト	-	-
m ² あたり物件費等	6.83	-
1件あたり物件費等	-	-
対前年増減率光熱水費(%)	-21.71	-

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではなく、他の施設と利用形態が異なるため、本施設間比較の平均値から除く。

◆ 施設の分析・考察

宇奈根考古資料室との合算値のため、宇奈根考古資料室を参照。

池之上青少年交流センター

(池之上青少年会館)

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和54年(42年)	880.15㎡	1,131.34㎡	880.15㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称			
代沢2-37-18	RC造	(地上/地下) 2/0	—			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	子ども・若者部子ども・若者支援課	設置根拠	世田谷区立青少年交流センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	青少年(おおむね30歳以下の者をいう。以下同じ。)の健全な育成を図るとともに、青少年の社会的自立を総合的に支援し、活力ある地域社会を実現することを目的として設置している		
小区分	青少年施設				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	150	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
近隣商業地域	80	300	第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	98,589	66,893	31,696	147
	物件費等	19,661	10,209	9,452	193
	物件費	19,569	10,204	9,365	
	うち光熱水費	2,767	1,861	906	
	うち委託料	10,997	4,880	6,117	
	うち土地建物設備賃借料	237	540	▲ 303	
	維持補修費	92	5	87	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	7,242	7,242	0	
	その他	0	0	0	
収入	投資的経費	80,531	62,150	18,381	
	総収入	2,992	2,113	879	
	使用料・手数料	87	197	▲ 110	
	その他	2,905	1,916	989	
建物情報	建物取得価額	329,191			
	建物減価償却累計額	304,172			
	建物残存価額	25,019			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託委託	5,194千円	運営準備業務委託	3,024千円	光熱水費	2,767千円(電気料 2,378千円)
----------	---------	----------	---------	------	----------------------

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和26年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.2億円
	物件費等の積算額	1.5億円	3.6億円
	合計	1.5億円	4.8億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

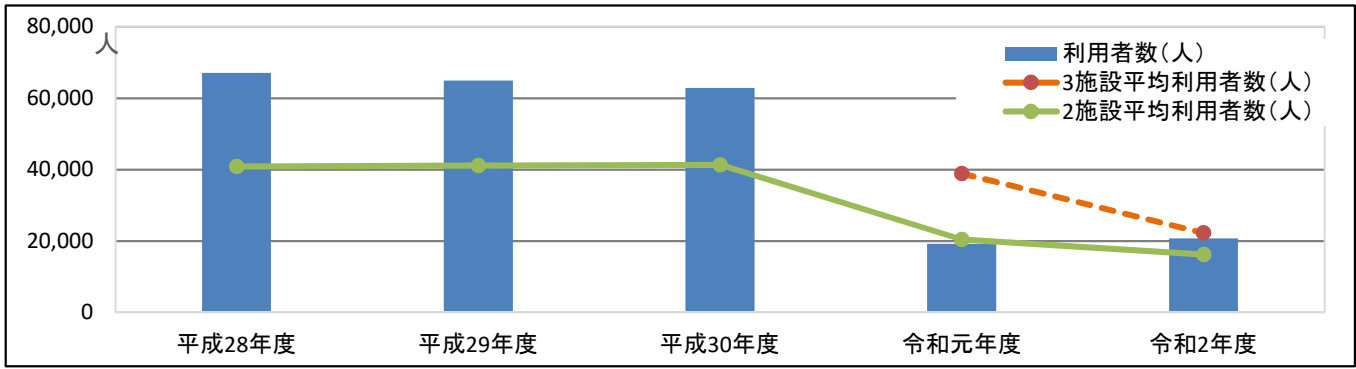
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)		67,017	64,858	62,855	19,160	20,686

参考: 青少年交流センター3施設の合計利用者数

	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3施設合計利用者数(人)					116,663	66,658
3施設平均利用者数(人)					38,888	22,219

参考: 青少年交流センター2施設(池之上、野毛)の合計利用者数

	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
2施設合計利用者数(人)		81,788	82,200	82,644	40,820	32,356
2施設平均利用者数(人)		40,894	41,100	41,322	20,410	16,178



◆ 施設間比較

	令和2年度	(参考) 3施設平均
利用者数	20,686	22,233
m ² あたり総コスト	112.01	108.92
1人あたり総コスト	4.77	5.36
m ² あたり物件費等	22.34	64.02
1人あたり物件費等	0.95	3.37
対前年増減率光熱水費(%)	48.68	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストが前年度の約1.5倍に増加。また、物件費等も約1.9倍に増加。
【利用状況】利用者数が一昨年度の3割に減少。(昨年度からは1.1倍。)

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
検討委員会より、専門的なユースワーカーの不在等、職員体制を見直すことが示された。そのため、令和3年度からの民営化に向けた運営準備業務を行い、委託料及び配賦人件費が増加した。
【利用状況】
平成31年度は大規模改修工事により、長期休館していた。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。
引き続き、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。また、令和3年度から民営化され、専門性を持ったユースワーカーが常駐している。多様な子ども・若者への伴奏的支援を強化していくことで利用者の増加を図る。

野毛青少年交流センター

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和38年(58年)	779.26㎡	1,968.00㎡	779.26㎡	区所有	委託	児童育成協会
住所	構造	階数	複合施設名称			
野毛2-15-19	RC造	(地上/地下) 2/1	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	子ども・若者部子ども・若者支援課	設置根拠	世田谷区立青少年交流センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	青少年(おおむね30歳以下の者をいう。以下同じ。)の健全な育成を図るとともに、青少年の社会的自立を総合的に支援し、活力ある地域社会を実現することを目的として設置している		
小区分	青少年施設				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	40	80	第一種高度地区	指定なし	3h-2h 1.5m
その他	第二種風致地区				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	87,780	81,164	6,616	108
	物件費等	74,724	63,401	11,323	118
	物件費	72,530	62,112	10,418	
	うち光熱水費	1,333	1,501	▲ 168	
	うち委託料	69,337	57,401	11,936	
	うち土地建物設備賃借料	72	427	▲ 355	
	維持補修費	2,194	1,289	905	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	262	262	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	8,216	12,308	▲ 4,092	
	(配賦)間接コスト	4,578	5,193	▲ 615	
投資的経費	0	1,100	▲ 1,100		
収入	総収入	16,827	13,515	3,312	
	使用料・手数料	6	31	▲ 25	
	その他	16,821	13,484	3,337	
建物情報	建物取得価額	156,962			
	建物減価償却累計額	155,151			
	建物残存価額	1,811			

※令和元年度の(配賦)人件費及び(配賦)間接コストは、経年比較のため補正した金額

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	18,688千円	運營業務委託	49,509千円	光熱水費	1,333千円(電気料 1,062千円)
----------	----------	--------	----------	------	----------------------

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

	10年間	築65年まで 〔令和10年〕
試算		
計画改修費	—	0.1億円
物件費等の積算額	—	5.5億円
合計	—	5.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

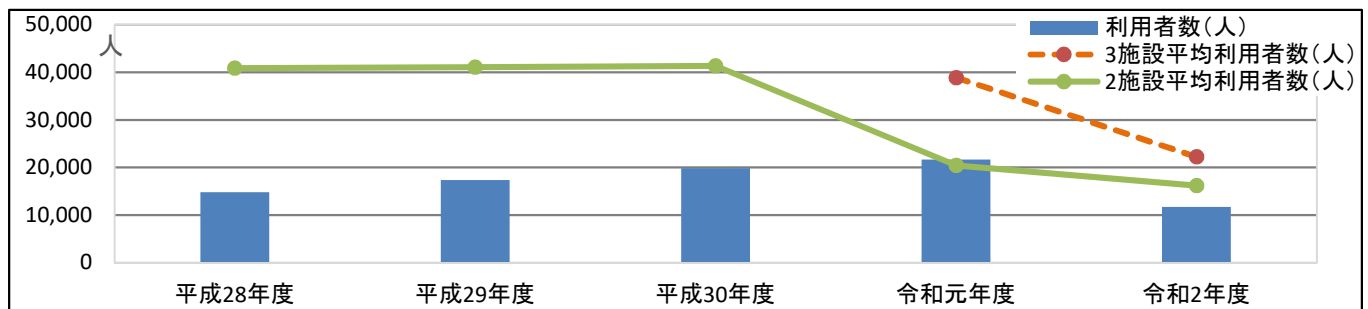
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)	14,771	17,342	19,789	21,660	11,670

参考: 青少年交流センター3施設の合計利用者数

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3施設合計利用者数(人)				116,663	66,658
3施設平均利用者数(人)				38,888	22,219

参考: 青少年交流センター2施設(池之上、野毛)の合計利用者数

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
2施設合計利用者数(人)	81,788	82,200	82,644	40,820	32,356
2施設平均利用者数(人)	40,894	41,100	41,322	20,410	16,178



◆ 施設間比較

	令和2年度	(参考) 3施設平均
利用者数	11,712	22,233
m ² あたり総コスト	112.65	108.92
1人あたり総コスト	7.49	5.36
m ² あたり物件費等	95.89	64.02
1人あたり物件費等	6.38	3.37
対前年増減率光熱水費(%)	-11.19	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】物件費等が前年度の約1.2倍に増加。
【利用状況】利用者数が前年度の5割に減少。
【施設間比較】m²あたり、1人あたりの総コストが3青少年交流センターの中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
前年度の活動を精査した結果、維持・運営業務委託に係る委託料が増加した。また、トイレ・エアコン等が劣化・破損したため、臨時修繕を行ったことにより維持補修費も増加した。
【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。
【施設間比較】
他の青少年施設と同様に施設の運営に係る経費が主要部分となっているが、同施設分類の中で専有面積が最小であるため、比較するとm²あたりの経費が割高となっている。また、最寄り駅(東急大井町線「等々力駅」または「上野毛駅」)から徒歩15分程度かかる位置に立地しているため、周辺施設へPRを行っているものの、池之上、希望丘と比べて来館者数が少ない。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。
引き続き、子ども・若者が輝く地域づくりに向けて、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。
周辺施設や近隣住民へのPR活動をさらに強化することで、利用者の増加を図る。

希望丘青少年交流センター「アップス」

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和57年(39年)	1,284.63㎡	6,342.98㎡	7,051.23㎡	区所有	委託	児童育成協会
住所	構造	階数	複合施設名称			
船橋6-25-1	RC造	(地上/地下) 4/0	希望丘保育園、ほっとスクール「希望丘」、希望丘地域体育館、希望丘区民集会所			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	子ども・若者部子ども・若者支援課	設置根拠	世田谷区立青少年交流センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	青少年(おおむね30歳以下の者をいう。以下同じ。)の健全な育成を図るとともに、青少年の社会的自立を総合的に支援し、活力ある地域社会を実現することを目的として設置している		
小区分	青少年施設				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	31m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
第一種住居地域	60	200	31m第二種高度地	準防火地域	5h-3h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。駐車場除く。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	131,166	138,480	▲ 7,314	95
	物件費等	94,852	91,842	3,010	103
	物件費	94,641	91,814	2,827	
	うち光熱水費	2,761	3,502	▲ 741	
	うち委託料	89,723	86,940	2,783	
	うち土地建物設備賃借料	165	164	1	
	維持補修費	211	28	183	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	15,143	15,143	0	
	その他	0	173	▲ 173	
	(配賦)人件費	12,665	21,662	▲ 8,997	
(配賦)間接コスト	8,506	9,660	▲ 1,154		
投資的経費	0	0	0		
収入	総収入	30,284	29,467	817	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	30,284	29,467	817	
建物情報	建物取得価額	2,701,990			
	建物減価償却累計額	434,832			
	建物残存価額	2,267,158			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

運営業務委託 69,978千円 維持管理業務委託 19,631千円 光熱水費 2,761千円(電気料 1,673千円)

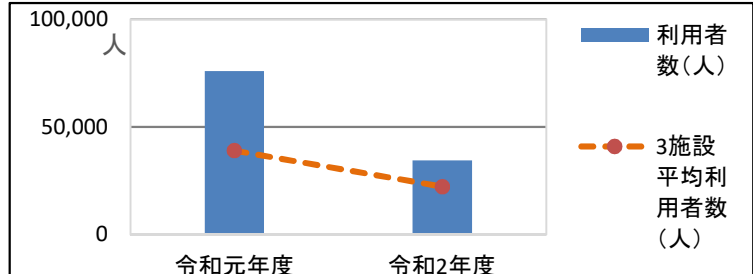
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和66年〕
試算	計画改修費	0.0億円	5.0億円
	物件費等の積算額	9.3億円	59.7億円
	合計	9.3億円	64.7億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)		75,843	34,302
参考: 青少年交流センター3施設の合計利用者数			
	年度	令和元年度	令和2年度
3施設合計利用者数(人)		116,663	66,658
3施設平均利用者数(人)		38,888	22,219



◆ 施設間比較

	令和2年度	(参考) 3施設平均
利用者数	34,302	22,233
m ² あたり総コスト	102.10	108.92
1人あたり総コスト	3.82	5.36
m ² あたり物件費等	73.84	64.02
1人あたり物件費等	2.77	3.37
対前年増減率光熱水費(%)	-21.16	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは7314千円減少。一方で、物件費等は3010千円増加。
【利用状況】利用者数が前年度の5割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
開設初年度(令和元年)を終えて大学連携事業や福祉的就労事業等を見直した結果、維持・運營業務委託に係る委託料が増加した。一方、開設2年目となり運営が落ち着いたことから、事務分担見直しにより配賦人件費が大幅に縮減されたため、総コストは減少した。
【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。引き続き、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。また、アウトリーチ事業を開始し、地域に潜在している利用者の掘り起こしを行い、利用者の増加を図る。

市民大学・生涯大学

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成25年(8年)	56.58㎡	2,258.88㎡	4,776.51㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
池尻2-3-11	RC造	(地上/地下) 4/0	健康増進・交流施設(せたがやがやがや館)、池尻地区会館、池尻児童館、池尻保育園			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部市民活動推進課	設置根拠	・世田谷市民大学設置要綱 ・世田谷区生涯大学実施運営要綱
中区分	その他の文化・学習施設		(市民活動・生涯現役推進課)		
小区分	学習施設等		【市民大学】区民が真に市民として自立する自己形成に資する学習機会の提供するため		

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	76,369	76,386	▲ 17	100
	物件費等	21,378	30,580	▲ 9,202	70
	物件費	21,373	30,435	▲ 9,062	
	うち光熱水費	169	200	▲ 31	
	うち委託料	1,225	728	497	
	うち土地建物設備賃借料	66	65	1	
	維持補修費	5	2	3	
	扶助費・補助費等	0	143	▲ 143	
	減価償却費	355	355	0	
	その他	106	119	▲ 13	
	(配賦)人件費	39,183	28,766	10,417	
(配賦)間接コスト	15,347	16,566	▲ 1,219		
投資的経費	0	0	0		
収入	総収入	9,559	22,316	▲ 12,757	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	9,559	22,316	▲ 12,757	
建物情報	建物取得価額	1,776,863			
	建物減価償却累計額	284,298			
	建物残存価額	1,492,565			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

専用ホームページに関するペネトレーションテスト(対攻撃性・脆弱性)テスト実施委託	495千円
管理運営に関する年度協定書	329千円
運営補助委託	246千円

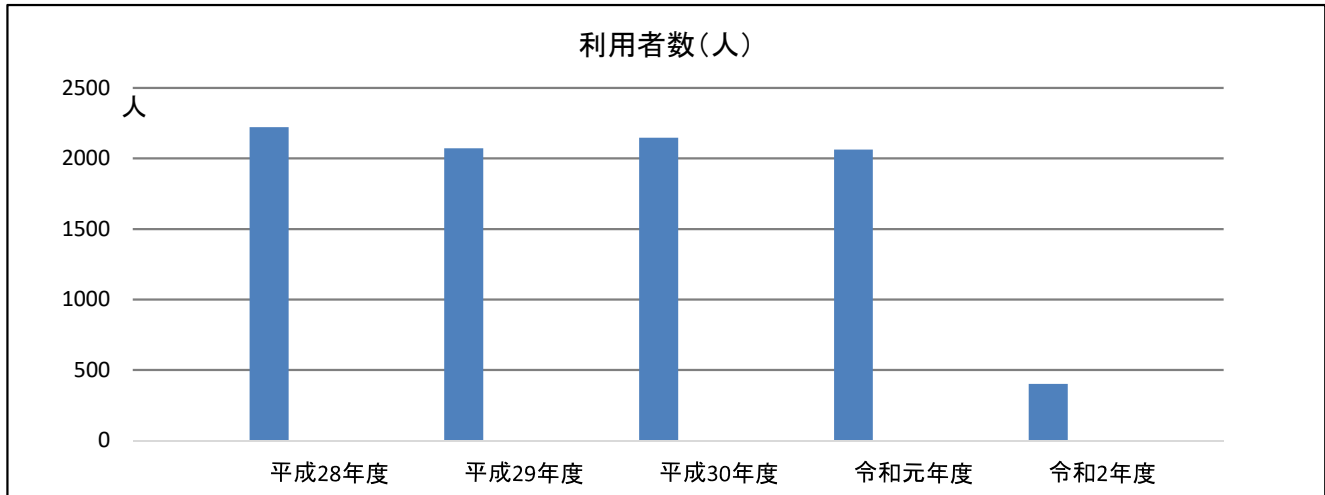
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和60年〕
試算	計画改修費	0.1億円	0.2億円
	物件費等の積算額	2.6億円	15.1億円
	合計	2.7億円	15.3億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)	2,221	2,072	2,147	2,062	401



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均
利用者数	401	-
m ² あたり総コスト	1349.77	-
1人あたり総コスト	190.45	-
m ² あたり物件費等	377.85	-
1人あたり物件費等	53.31	-
対前年増減率光熱水費(%)	-15.50	-

※市民大学・生涯大学は、面積規模がその他施設に比べ小さく、かつ建物全体面積に対する割合が1.2%と小さい複合施設のため、本施設間比較の平均値から除く

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは前年度と同等。一方で、物件費等は前年度の約7割に減少。
【利用状況】利用者数が前年度の2割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一時休校により講師への報償費などの施設運営に係る経費が減少した。一方で事務局職員の雇用形態が変更されたため、配賦人件費が増加し総コストは前年度と同等となっている。
【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、市民大学のサマーフォーラムの中止や生涯大学の公開文化講演会の縮小を行い、利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組んでいく。加えて、社会情勢を踏まえ、生涯学習を通じた仲間づくり・生きがいがいづくり推進できるよう、区民と一体となって補完し合えるネットワークを形成し、地域に開かれた施設を目指し、機能を戻しながらコロナ禍前の適正規模での運営を引き続き検討していく。

男女共同参画センター“らぶらす”

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(33年)	872.67㎡	562.34㎡	1,162.21㎡	民間所有	委託	共生会SHOWA(らぶらす)
住所	構造	階数	複合施設名称			
太子堂1-12-40 グレート王寿ビル	SRC造	(地上/地下) 8/1	ぶらっとホーム世田谷			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部人権・男女共同参画課(人権・男女共同参画課)	設置根拠	世田谷区立男女共同参画センター条例	
中区分	その他の文化・学習施設					
小区分	男女共同参画センター	設置目的	男女共同参画社会の実現を目指し、区民の自主的かつ実践的な活動の場と機会を提供するため設置している			

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	500	指定なし	防火地域	指定なし
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	都営下馬アパート周辺地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	146,678	148,262	▲ 1,584	99
	物件費等	132,990	133,774	▲ 784	99
	物件費	122,205	122,890	▲ 685	
	うち光熱水費	0	0	0	
	うち委託料	71,350	68,776	2,574	
	うち土地建物設備賃借料	44,147	47,790	▲ 3,643	
	維持補修費	249	76	173	
	扶助費・補助費等	10,536	10,808	▲ 272	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	8,417	9,140	▲ 723	
	(配賦)間接コスト	5,271	5,348	▲ 77	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	389	1,206	▲ 817	
	使用料・手数料	240	693	▲ 453	
	その他	149	513	▲ 364	
建物情報	建物取得価額	-	-	-	-
	建物減価償却累計額	-	-	-	-
	建物残存価額	-	-	-	-

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

運営委託	64,238千円	不動産賃借料	44,115千円	維持管理委託(清掃・警備)	6,237千円
------	----------	--------	----------	---------------	---------

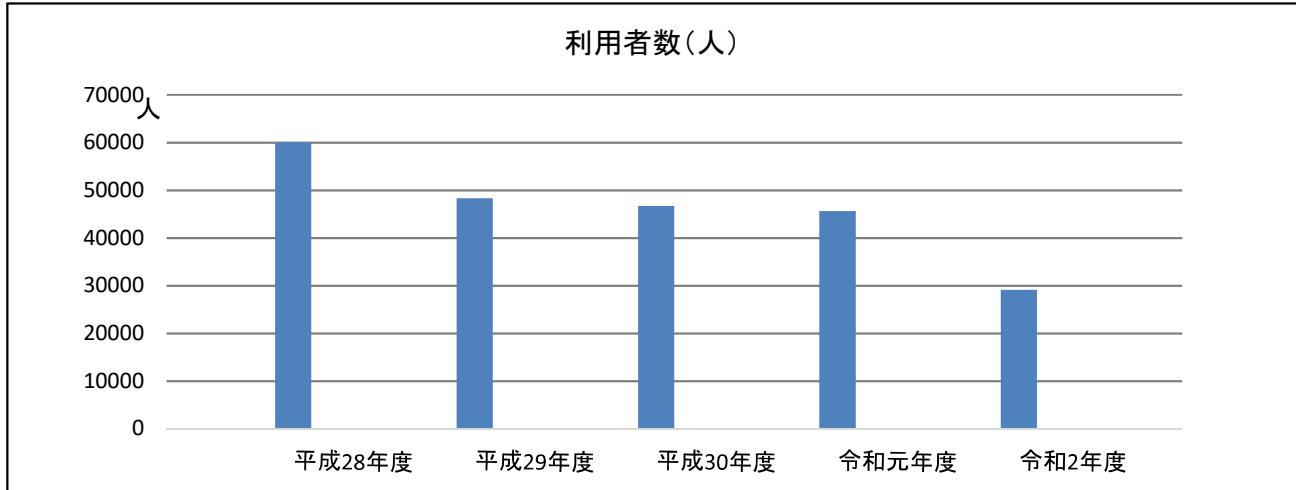
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.1億円
	物件費等の積算額	13.3億円	44.0億円
	合計	13.3億円	45.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)	60,084	48,313	46,722	45,615	29,153



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (その他の文化・学習施設)
利用者数	29,153	37,943
m ² あたり総コスト	168.08	106.00
1人あたり総コスト	5.03	5.34
m ² あたり物件費等	152.39	74.42
1人あたり物件費等	4.56	3.79
対前年増減率光熱水費(%)	-	-

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】利用者数が前年度の6割に減少。
【施設間比較】m²あたり総コスト、物件費等ともに同施設種別(その他文化・学習施設)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や開館時間の短縮により利用者が減少した。
【施設間比較】
同施設種別の中で唯一民間建物内で運営しており、不動産賃借料に係る経費負担があるため、比較するとm²あたりの経費が割高となっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

男女共同参画センターは、保健福祉センターと総合支所の一体化による影響で、民間建物へ移転した。社会情勢を踏まえ、男女共同参画推進を図るための機能拡充及び適正規模について引き続き検討していく。
また、区民、団体、地域の支援者などと一体となって男女共同参画を推進できるよう、情報共有し補完し合えるネットワークを形成し、地域に開かれた男女共同参画センターを目指し、引き続き取り組んでいく。

世田谷文化生活情報センター

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成8年(25年)	12,216.00㎡	9,149.66㎡	13,316.00㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
太子堂4-1-1	SRC造	(地上/地下) 27/5	キッズルームていんかあべる三茶、スカイキャロット展望ロビー			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課(文化・芸術振興課)	設置根拠	世田谷文化生活情報センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	区民が優れた演劇、音楽等の文化及び芸術を享受することができる機会並びに区民が自ら文化活動及び芸術活動を実践することができる場を提供するとともに、区民の地域交流活動、国際交流活動等を促進することにより、豊かな地域社会の形成に資するため設置している		
小区分	情報センター				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	600	指定なし	防火地域	指定なし
その他	高度利用地区				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。劇場・集会室コスト含む。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	1,540,231	1,489,790	50,441	103
	物件費等	1,115,142	1,089,046	26,096	102
	物件費	76,255	66,972	9,283	
	うち光熱水費	123	206	▲ 83	
	うち委託料	76,111	66,739	9,372	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	46,121	72,015	▲ 25,894	
	扶助費・補助費等	992,766	950,059	42,707	
	減価償却費	304,481	304,481	0	
	その他	4	8	▲ 4	
	(配賦)人件費	47,596	66,749	▲ 19,153	
	(配賦)間接コスト	73,008	29,506	43,502	
	投資的経費	26,079	6,048	20,031	
収入	総収入	41,472	21,348	20,124	
	使用料・手数料	1,770	3,064	▲ 1,294	
	その他	39,702	18,284	21,418	
建物情報	建物取得価額	14,255,161			
	建物減価償却累計額	6,861,376			
	建物残存価額	7,393,785			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

公益財団法人せたがや文化財団に対する補助金	782,923千円	キャロットタワー管理費等負担金	165,860千円
管理運営委託	47,844千円	施設維持管理業務委託	28,260千円

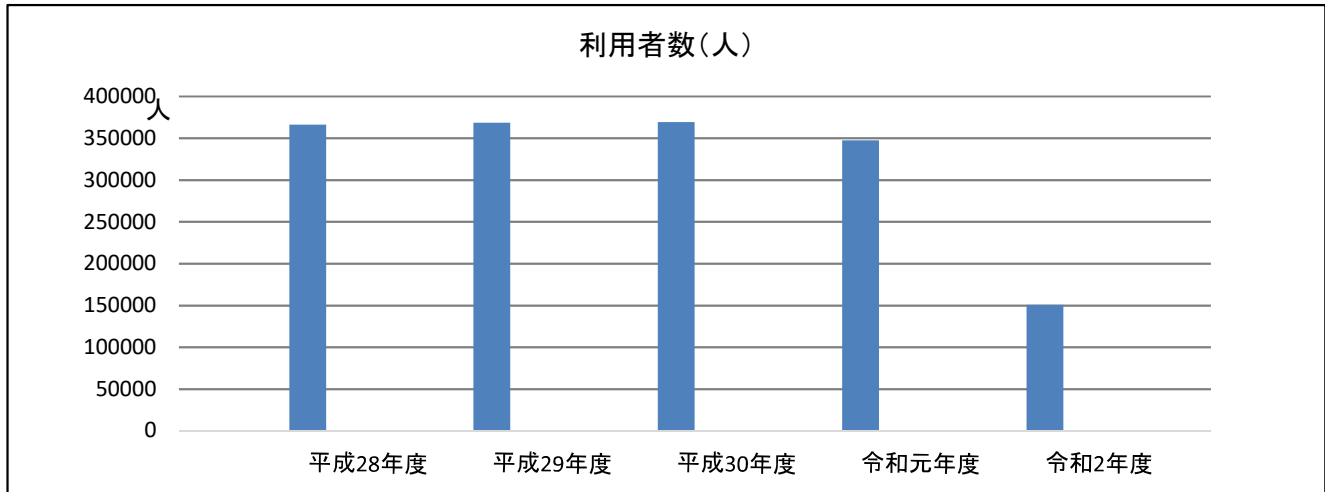
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

試算		10年間	築65年まで 〔令和43年〕
		計画改修費	12.9億円
	物件費等の積算額	110.2億円	451.9億円
	合計	123.1億円	475.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
 物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
 10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)		366,274	368,649	369,149	347,410	150,540



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (その他の文化・学習施設)
利用者数	150,540	37,943
m ² あたり総コスト	126.08	106.00
1人あたり総コスト	10.23	5.34
m ² あたり物件費等	91.29	74.42
1人あたり物件費等	7.41	3.79
対前年増減率光熱水費(%)	-40.29	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは50441千円増加。また、物件費等も前年度の26096千円増加。
 【利用状況】利用者数が前年度の4割に減少。
 【施設間比較】1人あたり総コスト、物件費等ともに同施設種別(その他文化・学習施設)の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を理由とした劇場施設の予約のキャンセルが相次ぎ、還付やキャンセル料の未収にかかる経費負担があったため、物件費が増加した。
 【利用状況】
 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより、利用者が減少した。
 【施設間比較】
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による入館者数の減少及び予約のキャンセルに係る経費負担の増加により、1人あたりの経費が割高となっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

コロナ禍によるデジタル化の急速な進展など、新しい生活様式への移行が進み、文化・芸術の分野においても新たな手法を取り入れた事業展開が広がっていることから、演劇公演の動画配信やオンラインワークショップなどデジタル技術を活用した事業展開に取り組むとともに、SNSによる情報発信の充実など多様な手法を用いた情報発信を推進し、利用者の増加を図る。また、優れた演劇・音楽公演や生活工房ギャラリーにおける企画展、せたがや国際交流センターの運営など、多様な事業を展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。

中央図書館プラネタリウム
(教育センタープラネタリウム)

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(33年)	343.12㎡	4,778.00㎡	9,933.77㎡	区所有	委託	世田谷サービス 公社
住所	構造	階数	複合施設名称			
弦巻3-16-8	RC造	(地上/地下) 3/2	総合教育相談室、教育センター、中央図書館			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	中央図書館(教育政策部新教育センター整備担当課)	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	世田谷区の児童生徒に学校の授業では得にくい体験学習の場を提供するとともに、一般区民の天文学習機会を充実する。		
小区分	プラネタリウム				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
第一種中高層住居専用地域	60	200	25m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他					

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	26,101	36,521	▲ 10,420	71
	物件費等	21,454	31,777	▲ 10,323	68
	物件費	21,030	30,813	▲ 9,783	
	うち光熱水費	952	1,054	▲ 102	
	うち委託料	14,617	23,765	▲ 9,148	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	424	964	▲ 540	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	3,510	3,510	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	752	839	▲ 87	
	(配賦)間接コスト	385	395	▲ 10	
	投資的経費	338	0	338	
収入	総収入	2,479	4,040	▲ 1,561	
	使用料・手数料	2,477	4,037	▲ 1,560	
	その他	2	3	▲ 1	
建物情報	建物取得価額	4,006,823			
	建物減価償却累計額	2,910,481			
	建物残存価額	1,096,342			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託 32,776千円 プラネタリウム設備機器保守点検業務委託 6,435千円
光熱水費 952千円(電気料 564千円)

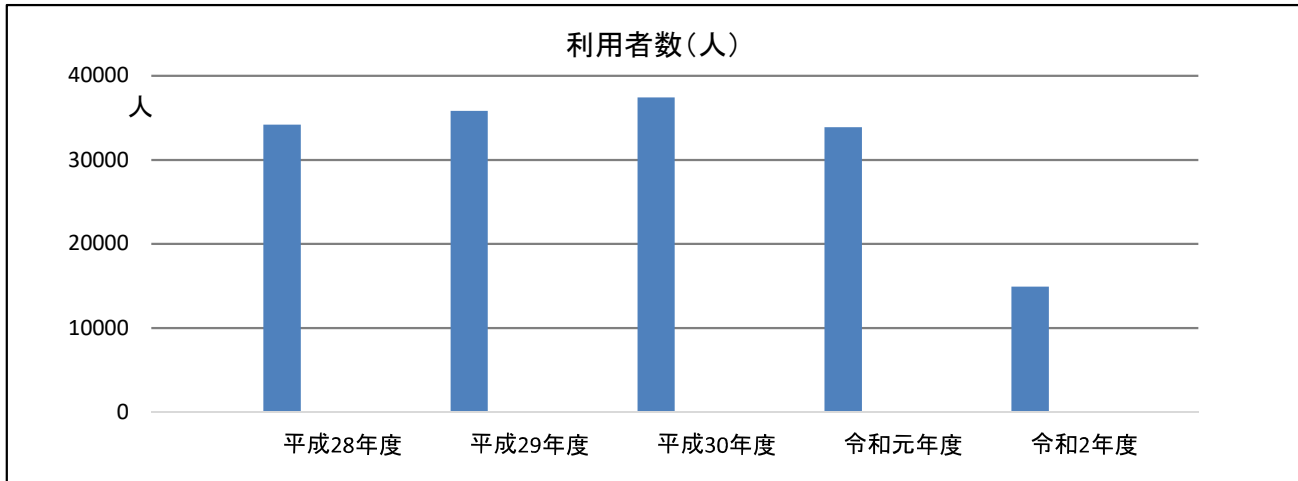
◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.9億円	1.1億円
	物件費等の積算額	2.7億円	8.8億円
	合計	3.6億円	9.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)		34,183	35,795	37,421	33,864	14,913



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (その他の文化・学習施設)
利用者数	14,913	37,943
m ² あたり総コスト	76.07	106.00
1人あたり総コスト	1.75	5.34
m ² あたり物件費等	62.53	74.42
1人あたり物件費等	1.44	3.79
対前年増減率光熱水費(%)	-9.68	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは前年度の約7割に減少。また、物件費も前年度の約7割に減少。
【利用状況】利用者数が前年度の4割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一般投影用番組制作の休止等により施設運営に係る経費が減少したと考えられる。
【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

運営が中央図書館に移管されたことを受け、図書館事業との連携を強化していくとともに、新しい天文学や宇宙物理学の知見を盛り込んだ一般投影番組等の充実を図り、来場者の増加に努めていく。
プラネタリウム投影関連機器のメンテナンスは、長期的な保全計画に基づき維持管理を行い経費の平準化を図る。

岡本公園民家園

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和55年(41年)	419.31㎡	11,921.83㎡	419.31㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
岡本2-19-1	木造	(地上/地下) 1/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生涯学習部生涯学習・地域学校連携課	設置根拠	世田谷区立公園民家園管理規則
中区分	その他の文化・学習施設		設置目的	区指定文化財古民家を保存・活用し、区の農村の歴史文化を実体として学び、人々の生活からつくり出され、守られてきた文化遺産を継承し、追体験できることを目的に設置	
小区分	民家園				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	都市公園、第一種風致地区、世田谷西部地域地区計画、土地区画整理事業をすべき区域、国分寺崖線保全整備地区等				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	55,566	39,613	15,953	140
	物件費等	37,911	22,512	15,399	168
	物件費	20,758	22,497	▲ 1,739	
	うち光熱水費	55	61	▲ 6	
	うち委託料	19,877	20,843	▲ 966	
	うち土地建物設備賃借料	35	35	0	
	維持補修費	17,140	0	17,140	
	扶助費・補助費等	13	15	▲ 2	
	減価償却費	243	321	▲ 78	
	その他	0	234	▲ 234	
	(配賦)人件費	12,586	11,090	1,496	
	(配賦)間接コスト	4,826	5,456	▲ 630	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	0	312	▲ 312	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	312	▲ 312	
建物情報	建物取得価額	51,978			
	建物減価償却累計額	51,294			
	建物残存価額	684			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

維持作業委託	11,107千円	管理業務委託	8,360千円	維持補修費	17,140千円
--------	----------	--------	---------	-------	----------

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和27年〕
試算	計画改修費	0.2億円	0.4億円
	物件費等の積算額	3.0億円	7.6億円
	合計	3.2億円	8.0億円

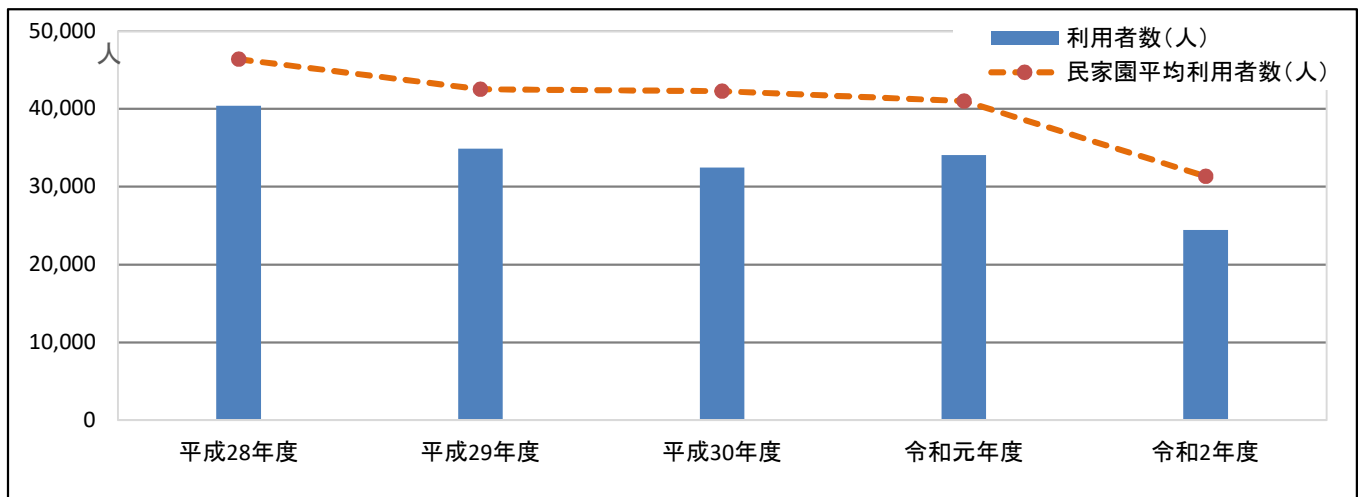
※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)	40,381	34,853	32,433	34,052	24,438

参考:民家園2施設の合計利用者数

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
民家園合計利用者数(人)	92,756	85,027	84,585	81,986	62,681
民家園平均利用者数(人)	46,378	42,514	42,293	40,993	31,341



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (その他の文化・学習施設)
利用者数	24,438	37,943
m ² あたり総コスト	132.52	106.00
1人あたり総コスト	2.27	5.34
m ² あたり物件費等	90.42	74.42
1人あたり物件費等	1.55	3.79
対前年増減率光熱水費(%)	-9.84	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストが前年度の約1.4倍に増加。また、物件費等も前年度の約1.7倍に増加。

【利用状況】利用者数が前年度の7割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

旧長崎家住宅の茅葺屋根の修繕や旧浦野家土蔵の瓦葺屋根の葺き替えを修繕計画に基づき行ったことにより、前年度0円だった維持補修費が大幅に増加し、物件費等が増加した。

【利用状況】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、臨時休園及び参加型事業や岡本七夕まつり等の中止により、来館者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

- ・施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。
- ・区の農村の歴史文化を次世代へ継承していくため、展示や事業等を通じた普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子どもに向けた教育活動、若者世代への積極的な働きかけを行い、来園者の増加に努めていく。

次大夫堀公園民家園

◆ 施設概要(令和3年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(33年)	1,371.67㎡	17,892.65㎡	1,371.67㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
喜多見5-27-14	木造	(地上/地下) 1/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生涯学習部生涯学習・地域学校連携課	設置根拠	世田谷区立公園民家園管理規則
中区分	その他の文化・学習施設		設置目的	区指定文化財古民家を保存・活用し、区の農村の歴史文化を実体として学び、人々の生活からつくり出され、守られてきた文化遺産を継承し、追体験できることを目的に設置	
小区分	民家園				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
第二種中高層住居専用地域	60	200	25m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	都市公園、第二種風致地区、世田谷西部地域地区計画、土地区画整理事業をすべき区域、文化財包蔵地、景観区域				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。駐車場除く。

		令和2年度	令和元年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	114,432	102,658	11,774	111
	物件費等	69,114	56,405	12,709	123
	物件費	56,199	53,910	2,289	
	うち光熱水費	120	211	▲ 91	
	うち委託料	51,654	48,925	2,729	
	うち土地建物設備賃借料	108	107	1	
	維持補修費	12,878	2,460	10,418	
	扶助費・補助費等	37	35	2	
	減価償却費	12,112	12,112	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	24,348	22,829	1,519	
	(配賦)間接コスト	8,858	11,312	▲ 2,454	
投資的経費	4,109	5,046	▲ 937		
収入	総収入	48	55	▲ 7	
	使用料・手数料	48	46	2	
	その他	0	9	▲ 9	
建物情報	建物取得価額	536,153			
	建物減価償却累計額	482,497			
	建物残存価額	53,657			

◆ 令和2年度の物件費等の主な内訳

管理業務委託	43,501千円	維持作業委託	5,844千円	消防設備蓄電池の交換業務委託	1,065千円
--------	----------	--------	---------	----------------	---------

◆ 将来想定経費 ※令和3年以降

		10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.7億円	1.5億円
	物件費等の積算額	6.3億円	20.7億円
	合計	7.0億円	22.2億円

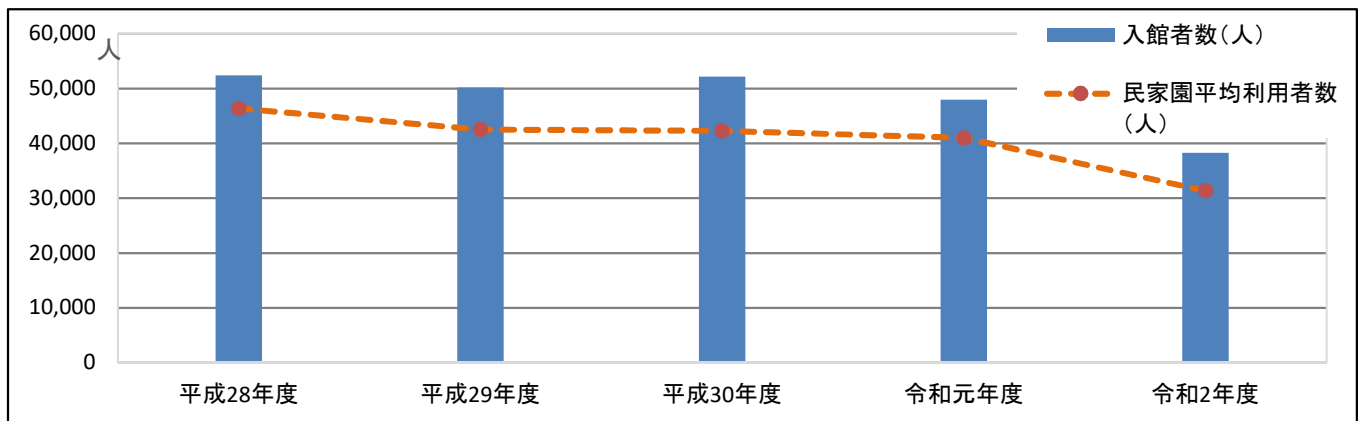
※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和3年9月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入館者数(人)	52,375	50,174	52,152	47,934	38,243

参考:民家園2施設の合計利用者数

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
民家園合計利用者数(人)	92,756	85,027	84,585	81,986	62,681
民家園平均利用者数(人)	46,378	42,514	42,293	40,993	31,341



◆ 施設間比較

	令和2年度	施設種別平均 (その他の文化・学習施設)
利用者数	38,243	37,943
m ² あたり総コスト	83.42	106.00
1人あたり総コスト	2.99	5.34
m ² あたり物件費等	50.39	74.42
1人あたり物件費等	1.81	3.79
対前年増減率光熱水費(%)	-43.13	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】総コストは11774千円増加。また、物件費等も前年度の約1.2倍に増加。
【利用状況】利用者数が前年度の8割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】
消防設備蓄電池の老朽化に伴う交換を臨時に行ったことにより委託料が増加した。また、旧谷岡家表門の茅葺屋根の修繕を修繕計画に基づき行ったことにより維持補修費が増加した。

【利用状況】
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、臨時休園及び参加型事業や区内小学校の社会科見学等が中止となったことにより、来館者が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

- 施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。
- 区の農村の歴史文化を次世代へ継承していくため、展示や事業等を通じた普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子どもに向けた教育活動、若者世代への積極的な働きかけを行い、来園者の増加に努めていく。